

働く人の健康管理・健康づくり情報誌

へるすあっぷ21

9

2022
SEPTEMBER
No.455

健康を
上げる
ヒント

特集

保健指導のヒント

わかる!身につく!健康力 気づきにくい甲状腺の病気
最前線レポート 森林を活用したリワークプログラム
けんぽREPORT 愛鉄連健康保険組合



NPO法人となりのかいご
代表理事 川内 潤

働く人のための

介護リテラシー向上講座

心得 6 ケアマネジャー選びは 介護の成功の鍵を握る

今回は、いよいよ介護がスタートした時点での心得です。

介護保険では、要介護1以上の認定を受けるとケアマネジャー（以下、ケアマネ）に介護プランを作成してもらうこととなります。ケアマネとは、介護支援専門員という資格者で、介護のための専門知識や技術を持ち、その人に合った介護プランを作成して、介護の現場を担う医師、看護師、ヘルパーなどを統括するプロデューサー的な立場にあります。介護事業所に所属しており、地域包括支援センターに相談するとその事業所を紹介してもらえます。

よいケアマネとの出会いは介護の成功の鍵ともいえますが、よいケアマネとはどのような人でしょうか。

家族の要望になんでも応えてくれるケアマネは一見よさそうに思いますが、むしろうるさいくらいに意見を言ったり、ときにはノーと言ったりする人ほど、親身になってくれているともいえます。専門家の立場で正しい判断をして、家族の要望でも要介護者本人のためにならないことは断る、あ

るいは新たな提案をしてくれる人こそ優秀なケアマネです。

たとえば、家族は一人暮らしの親が心配なのでデイサービスに行ってもいい。でも、本人は自宅で静かに本を読んで過ごしたい。介護のプロならあの手この手でデイサービスに連れて行くことは可能かもしれませんが、優秀なケアマネなら要介護者の希望をきちんとヒアリングして、在宅で見回りを増やすプランを提案するでしょう。

また、ひとくちにケアマネといっても、看護師出身の人、社会福祉士出身の人、介護福祉士出身の人など、その経歴や得意分野はさまざま。もし、胃ろうをしていたり、在宅酸素療法を行っているなど、医療面での配慮が必要な人なら看護師、認知症を発症している人なら介護福祉士、福祉制度を使って介護を進めたいなら社会福祉士、という具合に要介護者の状態や希望する介護に合ったケアマネを選ぶことが第一です。経歴や得意分野を確認したい場合は、名刺を見たり、本人に直接聞いてみることも構いません。

なお、根本的に合う・合わないもありませんから、相性が悪いと思ったら我慢せずに、契約した事業所が地域包括支援センターに相談して、別のケアマネと契約し直すといいでしょ。

介護チームのリーダーは家族 サブリーダーがケアマネジャー

最後に、ケアマネとの付き合い方の心得についてお話ししましょう。

介護は、医師や看護師、ホームヘルパー、デイサービスなどがケアマネのもとチームを組んで行います。家族はそのチームのリーダー、ケアマネはサブリーダーと考えましょう。サブリーダーは現場の個々のメンバーに指示を出し、さらに現場の状況をリーダーに報告します。うまく回っていないければリーダーはサブリーダーに改善を指示し、それをもとにサブリーダーが現場に指示を出す。そんなチームワークがうまく作れば介護はうまく回り、現場を安心して任せられることで、仕事と介護の両立もクリアできます。

ただし、リーダーだからといって上から目線は禁物。感謝の気持ちを伝え、ときに手助けをし、チームメンバーが気持ちよく動ける環境をつくるのが、最良の介護につながります。

